

社説

郵船會社の改革

郵船會社の組織は、随時社員品の行使を以て種々の風説を流したるは實際の事實なり...

託するに覺えなしと云ふものあらんれども現に其人物を見れば、頗るの老成にして決して若輩を認む可らざるのみか...

兩毛巡遊記 (十二)

前橋の商業機關 石井生

本金庫を預るに過ぎずといふ即ち一年の中最多額の貸附引ある時と雖も以上の諸銀行合して百萬圓内外なる由其内平均左の如し...

車ありて旅客貨り之に加ふるに道義成し又上越の都府に非ざるものと云はざる...